

「ストーリーのあるものづくり」で人気のオーダー家具店

FURNITURE STOCK (ファニチャー・ストック) 奈良県香芝市

消費不況が声高に叫ばれる昨今だが、普段は節約しながらもこだわりへの出費は惜しまないという「メリハリ消費」の動きも目立ってきており、そうしたニーズに「ストーリーのあるものづくり」でアピールし業績好調な事業者もある。

製作のプロセスを大切にしたこだわりのオーダー家具を販売し、関西一円だけでなく遠方からの注文も相次ぎ納品まで数か月待ちという人気家具店『ファニチャー・ストック』（香芝市）も、そうした元気な店の一つだ。

1人で店舗運営から家具製作までこなすオーナーの釘田浩生氏は、大阪府出身の36歳。大学で分子素材工学を学んでいたが、手仕事のものづくりに魅力を感じ、別大学の芸術学部^{くきたひろお}に再入学してプロダクトデザインを学んだという経歴を持つ。

その後、飛騨高山の家具専門学校で技術を習得、現地の企業で家具職人として4年間働いたのち、2009年3月に現在の店を開業した。



右側に工房を併設した店舗（上）釘田氏が気に入った他の作家の生活雑貨類も店内で販売している（右）



人との出会いを大切にする考えから、作業工房だけでなく交流の場としての店をどうしても持たなかったという釘田氏。工房と店舗を併設できる物件を香芝で見つけ、自然が多く閑静で暮らしやすい奈良の雰囲気も気に入り入居を決めた。

家具製作のプロセスは、まず顧客とじっくり話し合い、イメージしやすいように設置する部屋も含めた家具のCGを作成。それを印刷し、素材にもこだわったオリジナルの封筒で手紙を添えて郵

送、さらに打ち合わせを重ねていく。紙という形に残すことで、家具作りのプロセスそのものを楽しみ記憶にとどめてほしいという趣向だが、こうした対応が製品の背後に唯一無二のストーリーを生み出し、大きな付加価値につながっていく。

「大量生産の画一的な製品に消費者が飽き飽きしている時代だからこそ、ものづくりにはストーリーが大切」と釘田氏は強調する。



オリジナル家具が並ぶ店内。遠方からの来店も多く、「お客さんに楽しんでもらえるよう居心地のいい空間を常に意識している」という。



過去に注文のあった顧客からの再注文も多く、最近では「新築する自宅の家具一式を頼みたい」といったオーダーもあり、自分の仕事を本当に気に入ってもらえていると充実感を感じるという。

また釘田氏は、こだわりのある工芸作家、ショップ、カフェなどが集う屋外イベント『ブルースカイマーケット』を毎年春と秋の2回、香芝で開催するなど、地域を活性化し横のつながりを生み出す仕掛けづくりにも積極的に取り組んでいる。

「環境が良く豊かな時間が過ごせる奈良の生活は今の時代に合っている」と語る釘田氏。今後も丁寧な仕事で地道に一つ一つ信頼を積み上げ、日常生活を豊かにする家具を提供することで人々を楽しませていきたいという。

(吉村謙一、橋本公秀)



FURNITURE STOCK
(ファニチャー・ストック)

〒639-0232 奈良県香芝市下田東3-1235-4
TEL・FAX: 0745-61-6846
URL: <http://www.furniture-stock.com>